

## 地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	北海道	事業実施主体	乙 部町	地域再生計画名	緑豊かな自然を生かした観光と資源を活用するための交通ネットワークの整備計画
計画期間	平成30年度～令和 6 年度	評価責任者	地域振興推進課長 小松宏嘉		

	地域再生計画の目標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績						
	①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	目標1	観光交流の活性化・観光関連商品の売り上げ増加	3,000千円	H29	6,000千円	R2	9,508千円	10,000千円	R6	14,767千円	○		
	目標2	市街地から観光拠点までのアクセス改善	20分	H29	18分	R2	19分	16分	R6	16分	○	6	5	町道及び林道の整備による効果により、目標を達成できた。
	目標3	林業の振興と森林整備の促進 ①生産性利用区域の拡大	3,937ha	H29	3,968ha	R2	3,970ha	3,968ha	R6	3,970ha	○			伐採地から製材所に至るアクセス道路が整備されたことにより、継続的な森林作業及び搬出作業のための伐採地の確保が図られた。
		②間伐材・皆伐材搬出量の増加	0㎡	H29	300㎡	R2	329㎡	300㎡	R6	329㎡	○			伐採地から製材所に至るアクセス道路が整備されたことにより、継続的な森林作業及び搬出作業のための伐採地の確保が図られた。
		③地域材の町内公共施設への活用	0㎡	H29	70㎡	R2	60㎡	150㎡	R6	496㎡	○			目標地を大きく上回ることができ、町内産木材の建築物や外構材への利用促進・高付加価値化が図られた。
		④植樹面積の増加	0.65ha	H29	0.69ha	R2	0.65ha	0.71ha	R6	3.55ha	○			コロナ禍により地域住民団体と連携した植樹活動は実施できなかったが、設置済林道沿いに造林を実施し、目標値を達成することができた。
	重要業績評価指標（KPI）		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況			
②事業の実現状況に関する客観的な指標（KPI）の実現状況	指標1	「緑桂」への観光入込客数の増加	500人	H28	800人	R2	120人	1,300人	R6	1,000人	△			目標値には届かなかったものの、コロナ禍以前と比べると大幅な増加を達成しており、本事業の効果は明確に表れている。
	指標2	市街地から「緑桂」までのアクセス改善	20分	H29	18分	R2	19分	16分	R6	16分	○			町道及び林道の整備による効果により、目標を達成できた。
	指標3	生産性利用区域の拡大	3,937ha	H29	3,968ha	R2	3,970ha	3,968ha	R6	3,970ha	○			伐採地から製材所に至るアクセス道路が整備されたことにより、継続的な森林作業及び搬出作業のための伐採地の確保が図られた。
	指標4	間伐材・皆伐材搬出量の増加	0㎡	H29	300㎡	R2	329㎡	300㎡	R6	329㎡	○			伐採地から製材所に至るアクセス道路が整備されたことにより、継続的な森林作業及び搬出作業のための伐採地の確保が図られた。
	指標5	地域材の町内公共施設への活用	0㎡	H29	70㎡	R2	60㎡	150㎡	R6	496㎡	○			目標地を大きく上回ることができ、町内産木材の建築物や外構材への利用促進・高付加価値化が図られた。
	指標6	植樹面積の増加	0.65ha	H29	0.69ha	R2	0.65ha	0.71ha	R6	3.55ha	○			コロナ禍により地域住民団体と連携した植樹活動は実施できなかったが、設置済林道沿いに造林を実施し、目標値を達成することができた。
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
計画			中間年度（R）	最終実績										
地域再生計画に記載がある特別の措置を適用して行う事業	町道整備事業（整備）		2.6km	1.0km	2.6km	当初の計画通り、町道を整備することができた								
	林道整備事業（整備）		1.6km	1.0km	1.6km	当初の計画通り、林道を整備することができた								
その他の事業														
計画外で独自に実施した事業	緑桂公園駐車場整備事業		町道改良終点位置に駐車場（大型2台、普通車14台）と地場産木材を使用した転落防止柵200mを整備する。			R5年度に駐車場及び転落防止柵が完成したことにより、緑桂公園の安全性及び利便性の向上が図られ、観光入込客数の増加に寄与した。								
	森林環境保全整備事業		面的にまとまって計画的に行う搬出間伐材や皆伐材の森林施業を行う。			伐採地から製材所に至るアクセス道路が整備されたことにより、今後の効率的、継続的な森林施業及び搬出作業のための伐採地の確保が図られた。								
	森林整備地域活動事業		当該要望工事沿いや既存林道沿いの原野若しくは天然林地（単層林）に植樹を行う。			コロナ禍の影響により地域住民団体と連携した植樹活動は開催が困難となったが、設置済林道沿いに造林を実施し環境整備を図った。								
	「緑桂」魅力向上事業		4R5を活用した「緑桂」関連商品や「緑桂び」関連商品の開発・販売に取り組みるとともに、緑桂結核式、現地産農産物の開発などについて旅行会社等と連携しながら、企画・実施。			御朱印帳を作成し、神社、町内コンビニ、道の駅などで販売。遊歩道入り口に絵馬置き場を設置するなど、緑桂びの聖地を演出し、観光客が大幅に増加した。								
④評価方法	総合戦略検討委員会に対してKPI達成状況投票により報告し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討を行った。													
⑤事後評価の公表方法	乙郎町のホームページに掲載する。													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した町道・林道整備を一体的に行うことにより、観光拠点である「緑桂」とのアクセス向上による交流人口の増加、森林整備及び林道管理の作業性向上による町内産木材を活用した建築物や関連商品などへの利用促進、高付加価値化などを図り、活力ある地域社会の形成を目指すことを目的としている。 事後評価については、指標1の観光入込客数の目標は達成できなかったがコロナ禍以前の水準から大幅に増加しており、指標2～6は目標値を達成していることから、本事業における効果が表れている。													
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、整備は計画通りに進捗し、概ね目標・指標を達成できている。今後も、目標・指標の維持・向上に継続して取り組むとともに、支援措置によらない独自の取り組みについても、多角的な視点から新たな施策を検討し、さらなる地域振興を促進していく。													